AQAngle

アクアングル

23-12

建設市場動向レポート

- 月次特集レポート -

株式会社アクア

2023年12月

ハイライト

昨今の建設業界では、電気・機械設備工事を担うサブコンの調達がひっ迫しており、ゼネコン各社の受注の可否を左右する深刻な課題となっている。

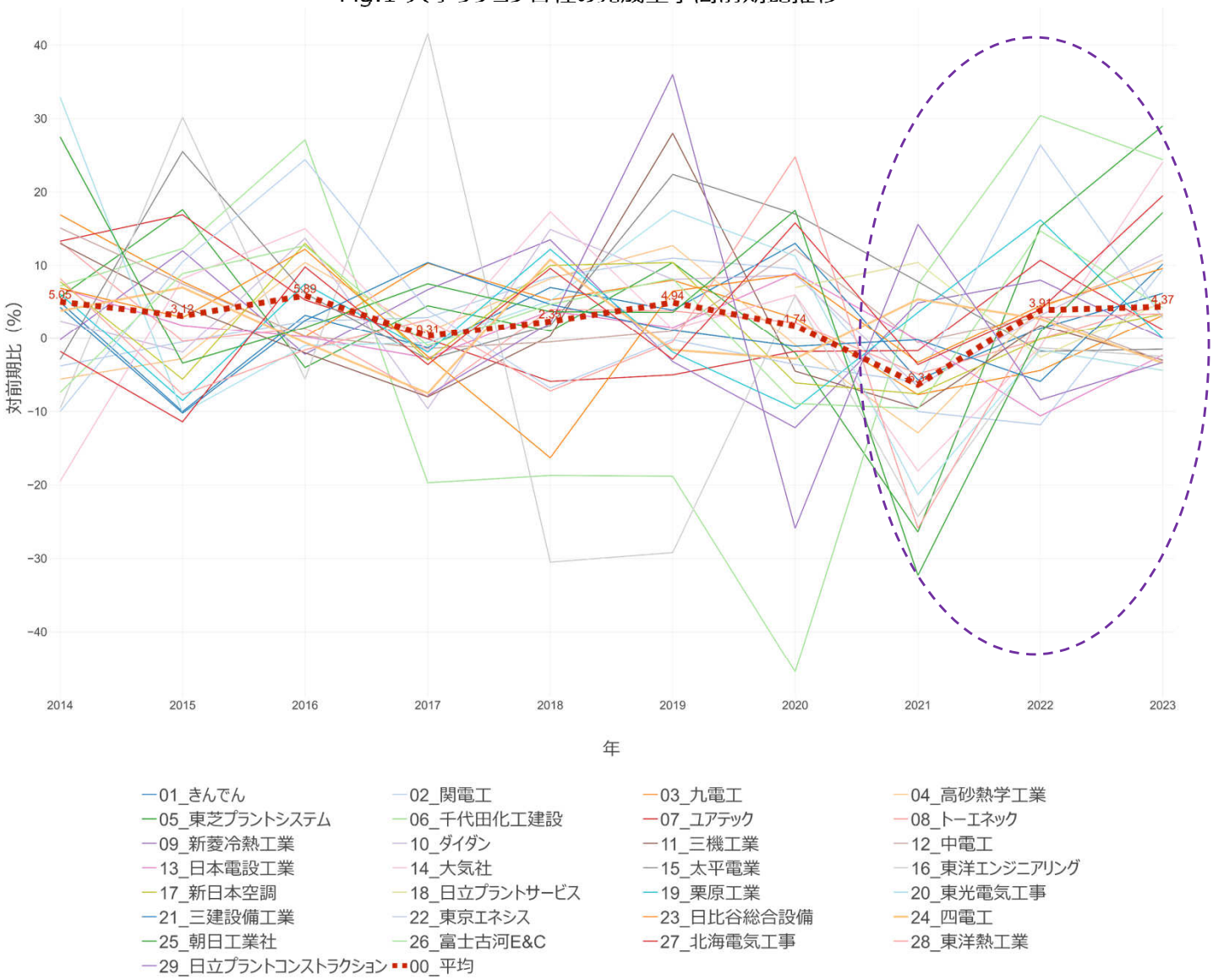
電気設備・機械設備工事サブコンの動向

2020年以来、メーカーの相次ぐ値上げにより、電気・機械設備機器や材料価格の高騰が続いており、また、慢性的な人手不足による労務費の高騰を受けて、電気設備・機械設備工事サブコンは選別受注の姿勢を強めており、需給のひっ迫につながっている。

大手サブコン29社の直近10期分の完成工事高の対前期比の推移を(Fig.1)(Fig.2)に示す。多くの会社が2021年3月期から2023年3月期までの2年間はプラス傾向を示しており、目下の各社の繁忙度合いをうかがい知ることができる。

また、2021年3月期のマイナスからプラス側へ大きく転じた会社も多く、手持ち工事量の増大に対して、業界全体の課題である人手不足によって、選別受注で手持ち工事量を調整せざるを得ない実態が映し出されている。

Fig.1 大手サブコン各社の完成工事高前期比推移



（出典：各社決算短信より作成）

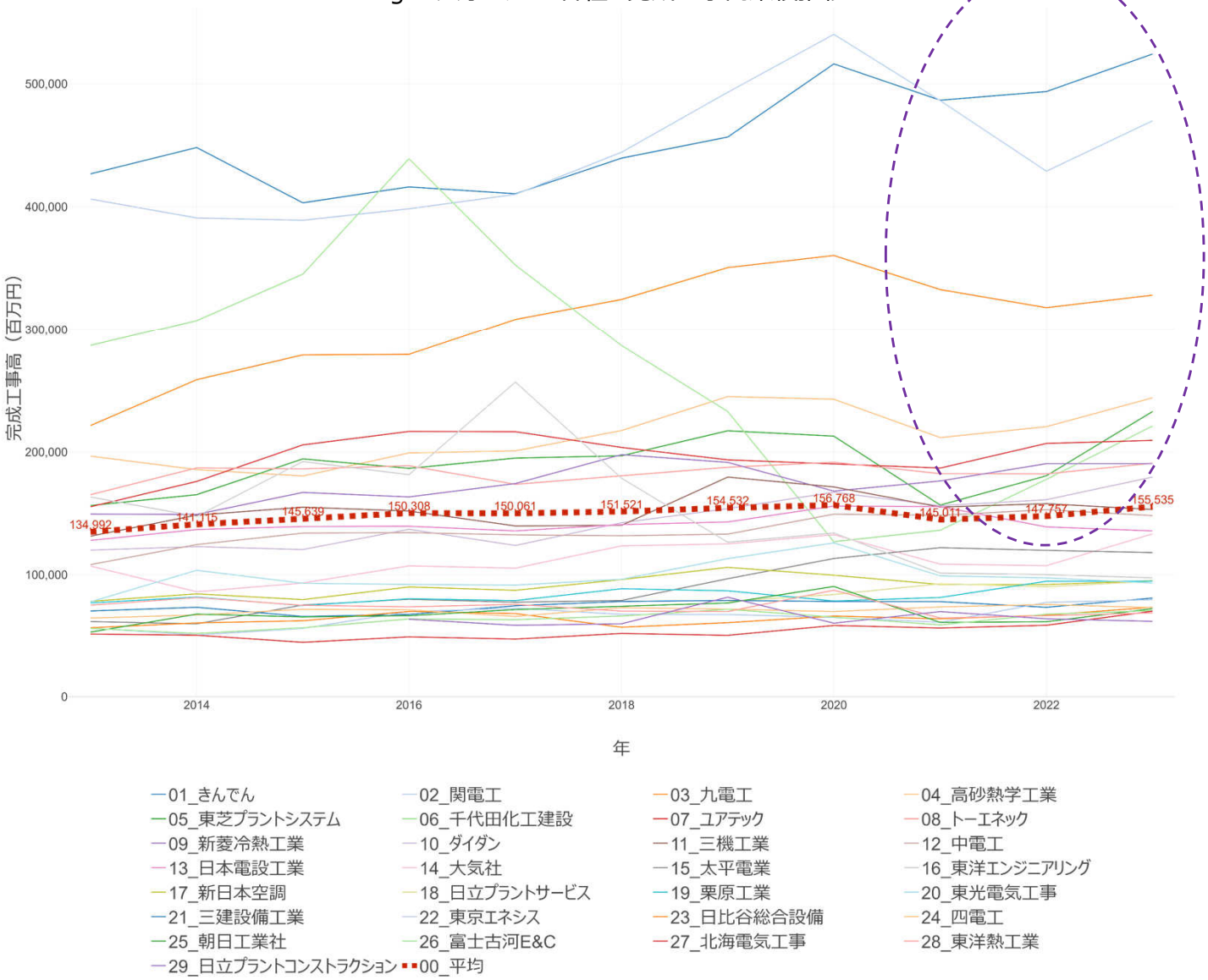
Fig.2 大手サブコン各社の完成工事高前期比推移

会社名	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
00_平均	5.1%	3.1%	5.9%	0.3%	2.4%	4.9%	1.7%	-6.3%	3.9%	4.4%
01_きんでん	5.0%	-10.0%	3.2%	-1.3%	7.0%	3.9%	13.0%	-5.7%	1.4%	6.2%
02_関電工	-3.8%	-0.5%	2.4%	2.9%	8.4%	11.0%	9.5%	-10.0%	-11.8%	9.5%
03_九電工	16.9%	7.8%	0.2%	10.3%	5.3%	8.0%	2.8%	-7.7%	-4.4%	3.2%
04_高砂熱学工業	-5.6%	-2.8%	10.4%	0.9%	8.2%	12.7%	-0.9%	-12.9%	4.2%	10.7%
05_東芝プラントシステム	5.7%	17.6%	-4.0%	4.5%	1.0%	10.4%	-2.0%	-26.4%	15.3%	29.0%
06_千代田化工建設	7.2%	12.3%	27.1%	-19.7%	-18.7%	-18.8%	-45.5%	7.4%	30.4%	24.4%
07_ユアテック	13.3%	16.9%	5.3%	-0.1%	-5.9%	-5.0%	-1.8%	-1.7%	10.7%	1.2%
08_トーエネック	13.2%	-0.4%	1.4%	-8.0%	4.0%	3.8%	2.2%	-4.9%	-0.1%	4.8%
09_新菱冷熱工業	-0.2%	12.0%	-2.2%	6.7%	13.5%	-3.2%	-12.2%	4.9%	8.0%	0.0%
10_ダイダン	2.4%	-1.9%	13.7%	-9.6%	14.9%	8.1%	8.7%	-6.6%	3.2%	11.5%
11_三機工業	13.0%	4.4%	-2.0%	-8.0%	0.3%	28.0%	-4.5%	-9.5%	1.8%	-3.0%
12_中電工	15.1%	7.5%	0.3%	-1.4%	-0.5%	1.0%	12.2%	-0.6%	3.1%	-3.1%
13_日本電設工業	6.9%	1.8%	0.2%	-2.7%	3.8%	1.5%	9.0%	-0.3%	-10.6%	-2.3%
14_大気社	-19.5%	8.2%	15.0%	-1.8%	17.3%	1.3%	6.0%	-18.1%	-1.1%	24.1%
15_太平電業	-2.9%	25.5%	6.2%	-2.9%	1.8%	22.4%	17.0%	7.8%	-1.8%	-1.5%
16_東洋エンジニアリング	-9.6%	30.2%	-5.6%	41.6%	-30.5%	-29.2%	5.9%	-24.3%	-1.3%	-2.5%
17_新日本空調	7.8%	-5.6%	13.0%	-3.0%	10.0%	10.4%	-6.1%	-7.6%	-0.1%	3.4%
18_日立プラントサービス							7.0%	10.4%	-2.6%	5.0%
19_栗原工業	6.1%	-8.5%	7.5%	-1.9%	12.2%	-1.9%	-9.6%	3.6%	16.2%	0.0%
20_東光電気工事	32.9%	-10.2%	-1.0%	-0.6%	5.2%	17.5%	11.3%	-21.3%	-1.6%	-4.4%
21_三建設備工業	4.3%	-10.2%	2.5%	10.4%	4.7%	1.1%	-1.1%	-0.2%	-5.9%	10.2%
22_東京エネシス	-10.0%	10.5%	24.4%	3.9%	-6.8%	-0.2%	-3.6%	-6.0%	26.4%	2.8%
23_日比谷総合設備	6.9%	2.9%	12.2%	-2.5%	-16.3%	6.5%	8.8%	-3.3%	4.5%	9.6%
24_四電工	3.8%	7.0%	-0.6%	-7.5%	10.8%	-1.6%	-2.8%	5.4%	2.7%	-3.4%
25_朝日工業社	27.5%	-3.4%	1.5%	7.5%	3.7%	3.6%	17.5%	-32.3%	0.9%	17.2%
26_富士古河E&C	-7.4%	8.9%	12.7%	-1.0%	4.7%	8.2%	-8.9%	-9.6%	14.7%	4.2%
27_北海電気工事	-1.8%	-11.4%	9.8%	-3.6%	9.6%	-2.9%	15.8%	-3.6%	4.0%	19.5%
28_東洋熱工業	8.2%	-7.7%	-1.6%	2.6%	-7.2%	-0.5%	24.8%	-25.9%	2.9%	3.4%
29_日立プラントコンストラクション				-7.8%	2.1%	36.0%	-25.9%	15.6%	-8.4%	-3.3%

（出典：各社決算短信より作成）

一方、大手サブコン29社の直近10期分の完成工事高推移 (Fig.3)(Fig.4)によると、2021年3月期以降の上位10社程度の完成工事高の増大に対して、それ以外の各社の完成工事高はほぼ安定的に推移しており、需要の増加が大手サブコンに集中していることが、業界全体の需給のひっ迫に拍車をかけていることが推測される。従来より多くの工事施工の発注においては、一括請負の慣習により、サブコンの選定は元請ゼネコンの裁量に依存しており、発注者にとってはブラックボックス化していること、また昨今の都心での再開発事業等の工事の大型化が、大手サブコンへの発注に偏っていることの一因となっているとすれば、分離発注やコストオン等の多様な発注方式を採用していくことも、選択肢として視野に入れていくことが必要になる可能性がある。

Fig.3 大手サブコン各社の完成工事高業績推移



（出典：各社決算短信より作成）

Fig.4 大手サブコン各社の完成工事高業績推移

（単位：百万円）

会社名	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
00_平均	134,992	141,115	145,639	150,308	150,061	151,521	154,532	156,768	145,011	147,757	155,535
01_きんでん	426,889	448,275	403,363	416,293	410,703	439,641	456,762	516,196	486,705	493,724	524,233
02_関電工	406,386	391,057	389,193	398,495	410,192	444,452	493,128	540,202	486,327	429,021	469,990
03_九電工	221,531	258,901	279,133	279,634	308,523	324,823	350,727	360,540	332,880	318,145	328,333
04_高砂熱学工業	196,662	185,654	180,473	199,204	200,945	217,474	245,126	242,951	211,731	220,622	244,149
05_東芝プラントシステム	156,409	165,256	194,407	186,670	195,040	196,901	217,306	212,916	156,743	180,660	232,975
06_千代田化工建設	286,925	307,538	345,410	439,138	352,744	286,758	232,977	126,964	136,323	177,743	221,153
07_ユアテック	155,385	176,032	205,786	216,741	216,522	203,714	193,601	190,203	186,924	206,991	209,474
08_トーエネック	165,243	187,026	186,238	188,848	173,691	180,716	187,574	191,679	182,354	182,154	190,894
09_新菱冷熱工業	149,460	149,154	167,082	163,424	174,311	197,850	191,556	168,149	176,424	190,516	190,516
10_ダイダン	120,085	122,966	120,572	137,072	123,878	142,376	153,849	167,245	156,194	161,126	179,619
11_三機工業	131,471	148,596	155,065	151,904	139,792	140,279	179,592	171,512	155,151	157,919	153,178
12_中電工	108,279	124,618	133,944	134,345	132,512	131,809	133,126	149,347	148,443	153,001	148,235
13_日本電設工業	128,018	136,831	139,309	139,561	135,749	140,891	143,036	155,976	155,531	138,990	135,762
14_大気社	107,049	86,200	93,297	107,269	105,378	123,584	125,181	132,630	108,667	107,435	133,342
15_太平電業	61,899	60,080	75,396	80,048	77,695	79,078	96,813	113,246	122,106	119,884	118,055
16_東洋エンジニアリング	163,328	147,622	192,246	181,532	256,980	178,660	126,507	133,997	101,416	100,109	97,580
17_新日本空調	78,349	84,483	79,737	90,083	87,358	96,099	106,060	99,643	92,100	92,049	95,179
18_日立プラントサービス							78,440	83,933	92,652	90,264	94,772
19_栗原工業	77,106	81,846	74,925	80,513	79,003	88,647	86,965	78,642	81,509	94,743	94,743
20_東光電気工事	77,983	103,658	93,085	92,158	91,609	96,334	113,162	126,000	99,124	97,522	93,262
21_三建設備工業	70,495	73,559	66,082	67,736	74,788	78,300	79,127	78,276	78,150	73,554	81,032
22_東京エネシス	56,629	50,991	56,320	70,034	72,739	67,799	67,659	65,221	61,315	77,509	79,692
23_日比谷総合設備	56,877	60,794	62,572	70,185	68,449	57,290	61,016	66,405	64,181	67,099	73,567
24_四電工	64,778	67,225	71,923	71,456	66,087	73,228	72,036	70,055	73,859	75,828	73,263
25_朝日工業社	53,332	67,972	65,688	66,674	71,686	74,338	77,012	90,479	61,218	61,771	72,397
26_富士古河E&C	56,372	52,219	56,850	64,046	63,423	66,423	71,848	65,473	59,214	67,912	70,789
27_北海電気工事	51,736	50,797	45,029	49,453	47,667	52,238	50,698	58,731	56,634	58,903	70,369
28_東洋熱工業	75,250	81,421	75,130	73,938	75,891	70,426	70,086	87,453	64,830	66,680	68,978
29_日立プラントコンストラクション				63,846	58,866	60,114	81,754	60,571	70,036	64,166	62,057

（出典：各社決算短信より作成）

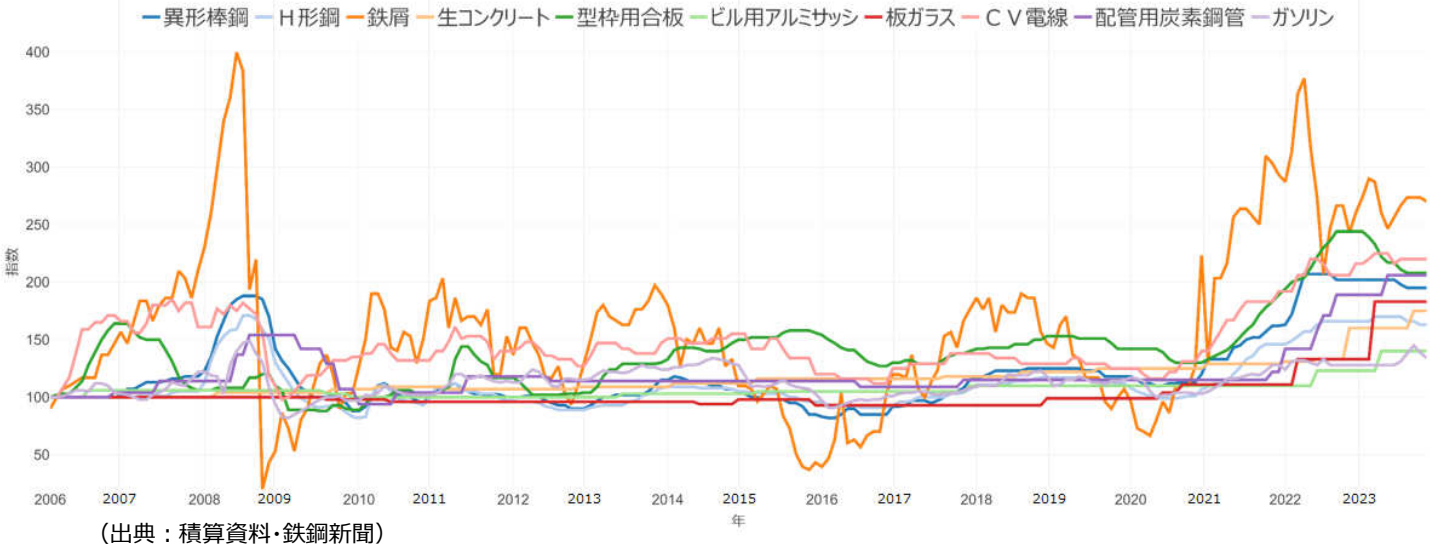
建築工事費の動向

2023年12月20日付にて、建設物価調査会総合研究所発表の2023年11月の建設物価建築費指数によると、対前月比指数において、集合住宅では0.2%（前年同月比プラス5.3%）上昇し、事務所では0.5%（前年同月比プラス4.9%）上昇しており、依然として上昇傾向は続いている。

材料価格推移

建設資材の価格動向を数値化している経済調査会による2023年11月の「建設資材価格総合指数」の建築・土木総合では、134.8で前月比0.4%上昇した。（前年同月比でプラス3.2%）主要資材の価格動向の内、顕著な動きは電線類で、高圧ケーブルはメーカーの新規受注停止を受け、市中在庫が枯渇し、納期が不透明となり、一部の低圧ケーブルも新規受注停止が発表され、市場の品薄感が増している。一方、異形棒鋼やH型鋼等の鋼材は低調な需要を反映して、弱含みで推移しており、セメント・生コンクリートや型枠用合板、設備工事用配管類の価格は横ばいで推移している。(Fig.5)

Fig.5 主要建設材料（東京都）価格推移

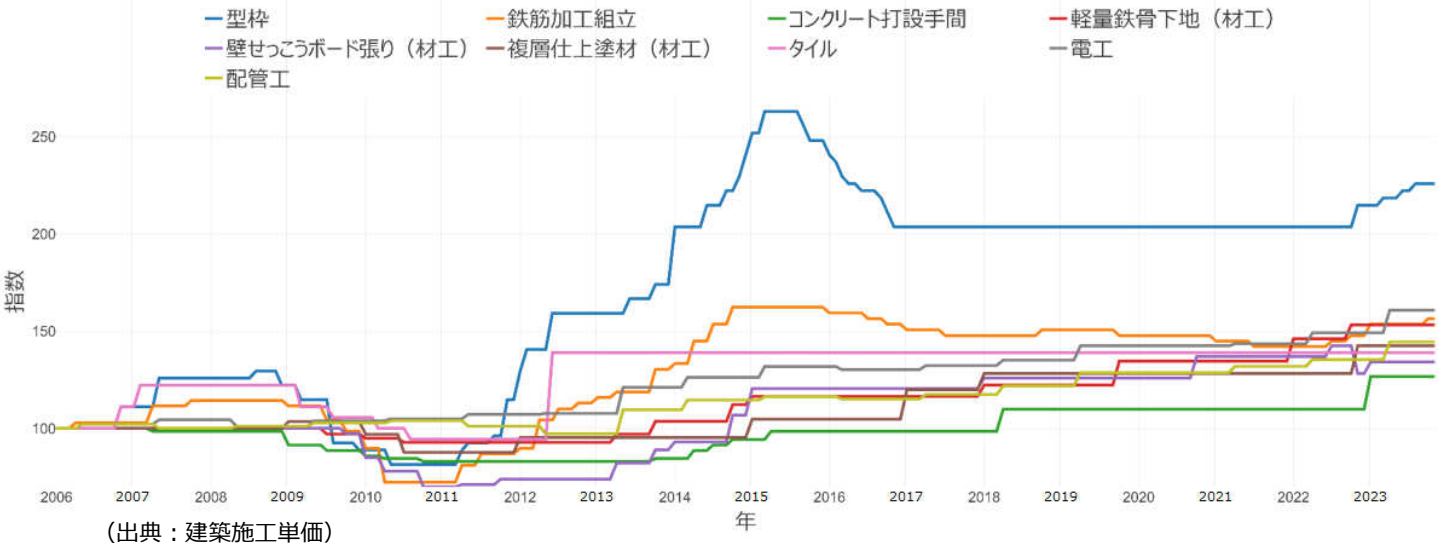


（出典：積算資料・鉄鋼新聞）

労務費推移

国土交通省による2023年10月の建設労働需給調査結果によると、全国の８職種の過不足率は、1.9%の不足となり、前月の2.1%の不足から0.2ポイント縮小した。また、すべての職種で不足となっている。翌々月（11月）における労働者の確保に関する見通しは、対前年同月比1.9ポイントの上昇となっている。さらに目前の2024年4月1日には、働き方改革関連法に基づく時間外労働時間の上限規制の建設業への適用が開始されることから、工期延長や労務事情のひっ迫による労務単価の上昇が予想される。（Fig.6）

Fig.6 主要労務材工費（東京都）推移



（出典：建築施工単価）

アクアングル

株式会社アクア

お問い合わせ先

株式会社アクア
データサイエンス室
〒101-0052
東京都千代田区神田小川町3-7-1
ミツワ小川町ビル4階
aqa4@aqa-pm.co.jp